

会社概要 (平成29年9月30日現在)

所在地 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
設立 昭和52年5月6日
株式の状況 発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 22,579,700株
 株主数 4,665名

大株主の状況 (上位10名)

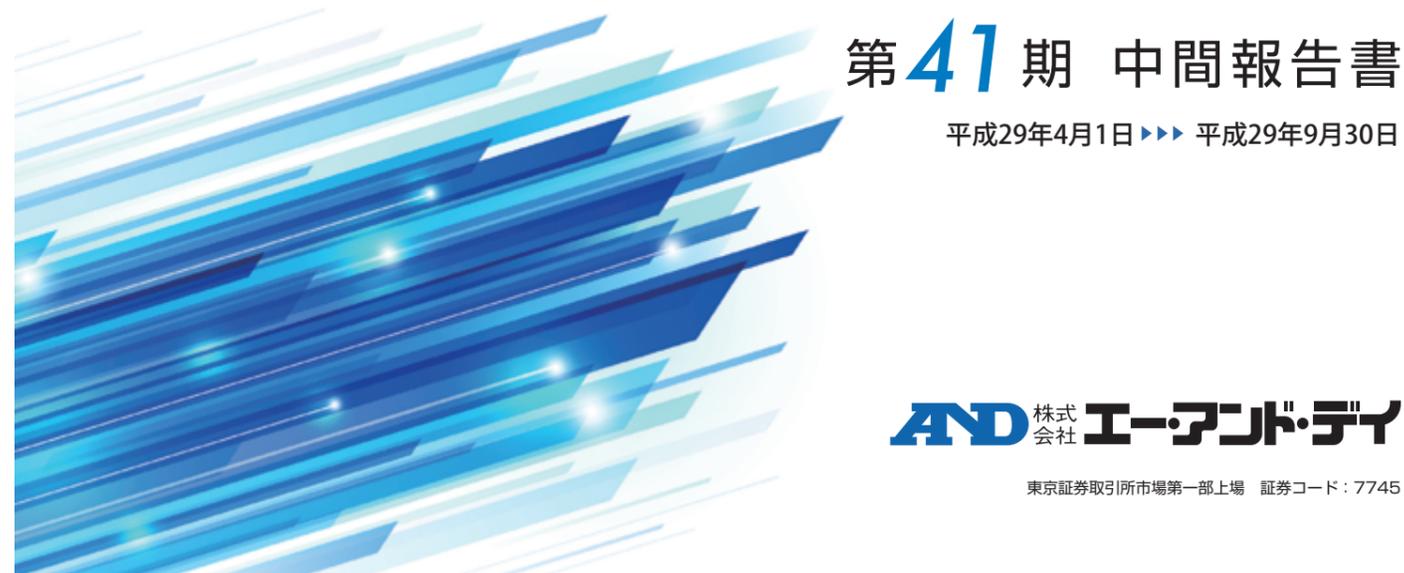
株主名	持株数	持株比率
イー・アンド・デイ従業員持株会	1,534千株	7.37%
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	1,312	6.30
(株)デンソー	1,122	5.39
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	916	4.40
ピービーエイチフォーファイデリティロープライズストックファンド (プリンシパル オール セクター サポート フォリオ)	750	3.60
(株)埼玉りそな銀行	606	2.91
(株)足利銀行	490	2.35
古川 哲	448	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	439	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口5)	339	1.63

(注)1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,755,880株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託 (BBT) の導入に際して設定した資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が所有する当社株式335,400株を含んでおりません。
 2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

従業員 703名
資本金 6,388,671,700円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル、電子式台秤及び選別・仕分け機器の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、製造、販売
株式会社 M B S	200,000千円	100.0%	自動車計測に関するエンジニアリングサービスの提供
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売 (米国)
愛安徳電子 (深圳) 有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露布郎	100.0%	当社製品の販売 (ロシア)



第41期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶▶▶ 平成29年9月30日

A&D 株式会社 **イー・アンド・デイ**

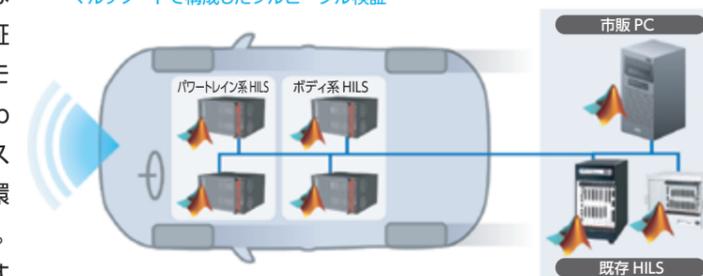
東京証券取引所市場第一部 上場 証券コード: 7745

A&D Topics A&Dトピックス

Topic1 自動運転やEV開発に対応した統合HILSプラットフォーム (DSP) 新型HILSプラットフォームHELIOSの提供を開始

車両の電動化、先進運転支援システム (ADAS)、自動運転などにより車両システムが複雑化しています。制御開発/検証には、1つひとつの機能が複雑な演算やサードパーティーのモデリングツールを使用するHILS (Hardware in the Loop Simulation) や、パワートレイン系HILS (エンジン・トランスミッション・バッテリーなど) / ボディー系HILS / 車両の周囲環境/気象環境/操縦安定性など複数のHILSが用いられます。当社はこれらを1つのシステムにまとめる統合HILSを構築するための、拡張性の高いHILSプラットフォームの提供を開始しました。

マルチノードで構成したフルビークル検証



HELIOS、既存HILS^(*)、市販PCを組み合わせたマルチノード構成
 (※)バックプレーンに同期機能を追加することで既存DSP筐体のIOボードが使用可能

Topic2 血圧計・体重計との接続連携でしっかり健康管理。リストバンド型ライフレコーダー UW-302BLE発売!

当社は、歩数や総消費カロリー、睡眠時間などを計測するリストバンド型ライフレコーダー「UW-302BLE」を発売しました。A&D製の通信機能付き血圧計や体重計での測定データにUW-302BLEによる測定データをプラスすることで、運動を行い血圧や体重を減らしていく過程や生活リズムを可視化し、一般ユーザーのセルフメディケーションや事業者の健康施策のサポートに役立ちます。



一般ユーザー向けアプリ A&D Connect Smart

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。



<http://www.aandd.co.jp/>

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
株主確定基準日 3月31日
 その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。公告掲載URL <http://www.aandd.co.jp/>
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 本店証券代行部

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。



株式会社イー・アンド・デイ
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
<http://www.aandd.co.jp/>



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに「第41期中間報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。
当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては企業業績や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。世界経済については、米国を中心に全体では拡大基調であるものの、米国のトランプ政権による政策動向等、先行きについては懸念材料が多い中で推移しました。



代表取締役 執行役員社長 森島 泰信

このような状況の中、当社グループは新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,089百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は315百万円(前年同期は営業損失391百万円)、経常利益は361百万円(前年同期は経常損失519百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は174百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失393百万円)となりました。以上の業績結果を踏まえ、株主の皆様への中間配当金につきましては、1株当たり5円といたしました。

計測・計量機器事業 日本においては、景気持ち直しの後押しもあり、計量機器では天秤やウェイトチェッカ、計測機器では油圧試験機を中心に幅広い分野で売上を伸ばしました。また、計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)は一部好調な製品はあるものの、全体としては前年同期をやや下回る売上となりました。米州においては、計量機器は前年同期並みの売上となったものの、計測機器ではかねてから取り組んでいた販売体制の見直しの効果が始まったことに加え、景況の緩やかな拡大にも後押しされ、DSPシステムの売上が回復しています。アジア・オセアニアにおいては、韓国において生産ライン組み込み用高精度計量センサー等が好調だった他、インドにおいて金属検出機やウェイトチェッカが好調だったこと等により売上を伸ばしました。また、豪州においても展示会出展等の販促活動の強化により、金属検出機やウェイトチェッカを中心に好調に推移しました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は11,298百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は183百万円(前年同期は営業損失225百万円)となりました。

医療・健康機器事業 日本においては、健康機器では血圧計の大口顧客向け輸出が伸び悩んだものの、リストバンド型活動量計の大口受注等があり、売上を伸ばしました。また、医療機器では全自動血圧計や看護用血圧計が好調だったことから売上を伸ばしました。さらに、材料費の高騰等により前年同期に悪化していた原価率が中国子会社における外注化の推進等の生産性改善により予想よりも早く回復したこともあり、利益も大きく改善しました。米州においては、米国でVA(退役軍人省)向け血圧計等の大口受注等があり売上を伸ばしました。欧州においては、ロシアで中国系企業の参入により血圧計市場の競争が激化しているものの売上を伸ばし、さらに、円に対する露ルーブルの価値が上がったことから、円換算での売上高は大きく増加しました。

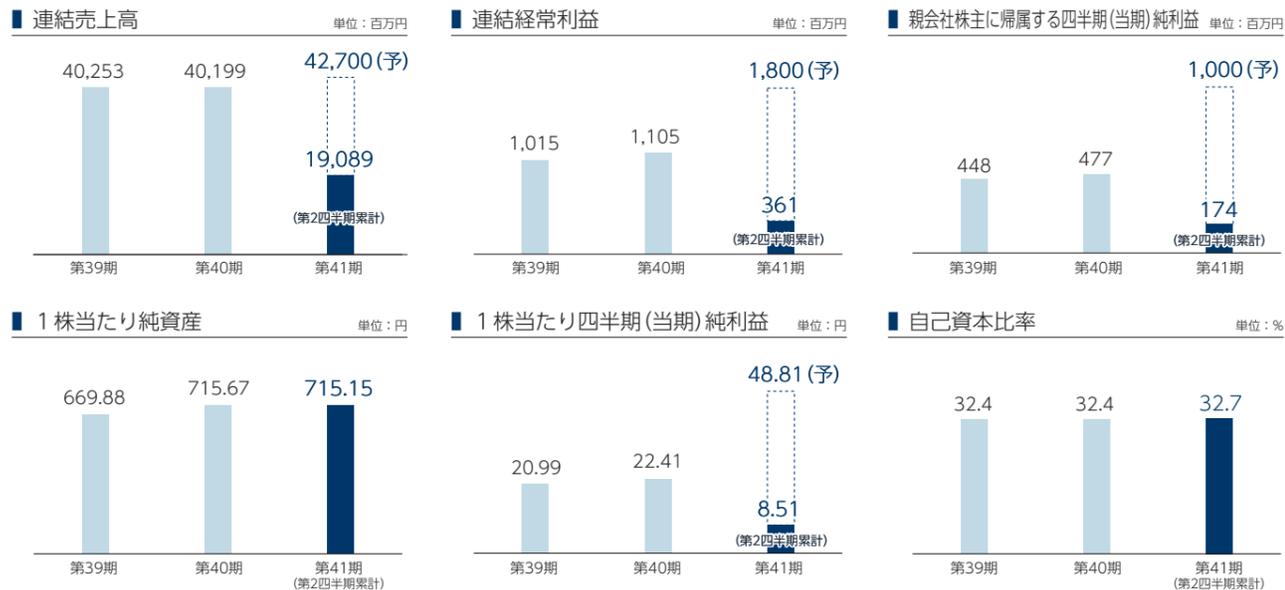
この結果、医療・健康機器事業の売上高は7,790百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は1,120百万円(前年同期比243.0%増)となりました。

通期連結業績見通しは、売上高42,700百万円、営業利益1,900百万円、経常利益1,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円を予定しております。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

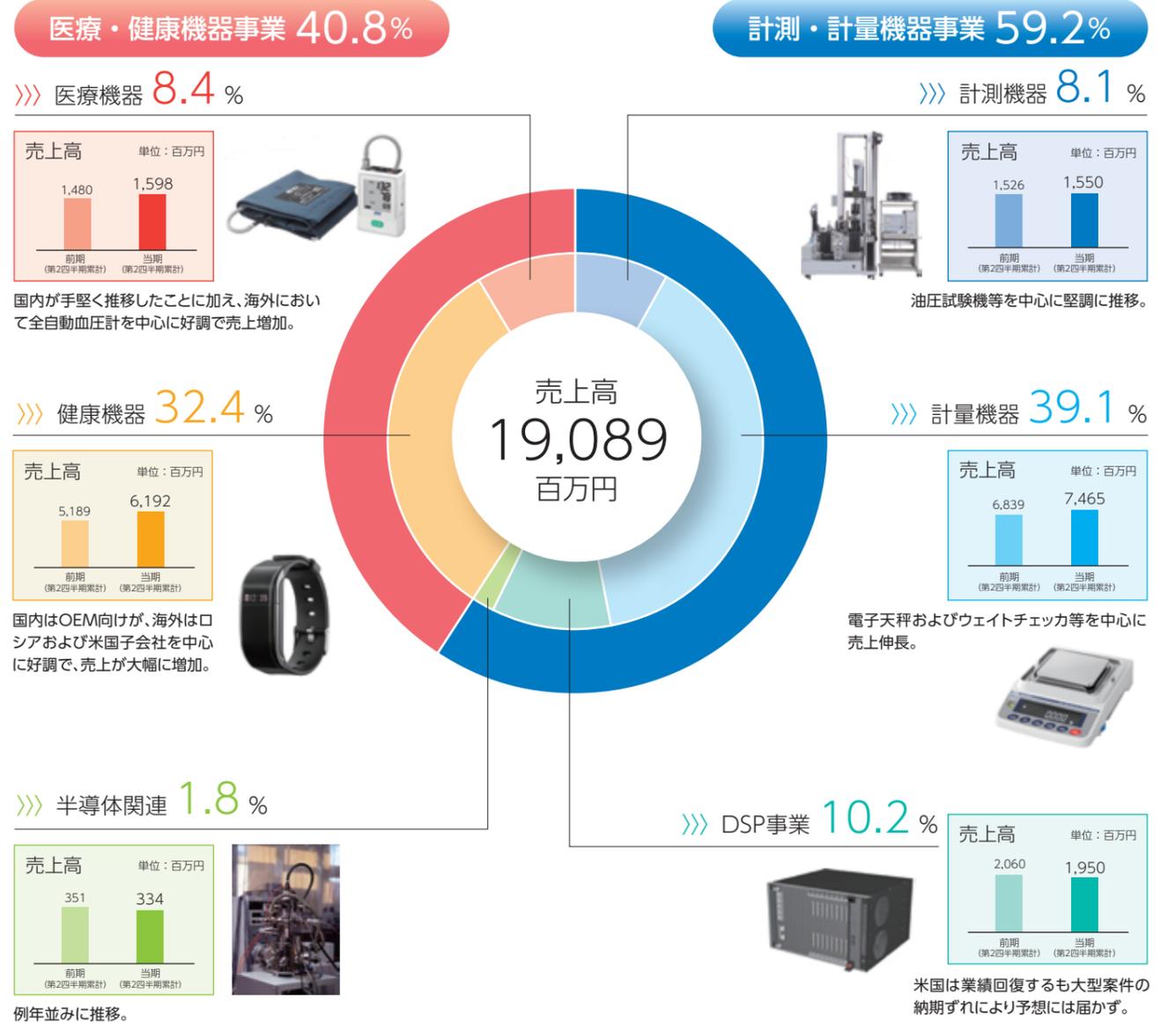
財務ハイライト

Financial highlights



営業の概況

Result of business



連結財務データ

Consolidated financial data

